

大塚 秀治ゼミナール【経営-1 クラス】

【題目】ネットワーク応用システムの開発と運用

【講義内容】本演習は経営情報コース向けの演習で、IT 関連企業、とりわけネットワーク技術者を指す者向けの内容となっている。具体的には「ネットワーク応用システムの開発と運用」をテーマとし、実際に小規模なネットワークの構築と運用を行う。さらに PC の組み立てや OS の導入、ネットワーク機器の調整、ネットワークケーブルの製作などの実習を通じて情報基盤設計の基礎知識を学ぶ。履修にあたっては、情報技術のスキルと基本的な知識が必要となる。さらに各自がネットワークを実際に設計し、ネットワークを応用したシステムを製作したうえで卒業論文のテーマを見出し、それを完成させる。かなり厳しい内容となっているので、十分な目的意識を持って取り組んでもらいたい。

【履修条件】

本演習の履修条件は以下の通りである。

- ・全てのゼミ活動に出席すること
- ・先輩や周囲の人々に対して礼儀正しいこと 大学生として基本的な常識をわきまえていること
- ・大学外での活動にふさわしい身なりをしていること
- ・ボランティアベースでネットワーク運用に協力できること
- ・コンピューター言語を習得する意欲があるもの(少なくとも1種類以上)
- ・卒論を提出すること(卒論を書かないことは認めない) さらに 卒論発表会で口頭発表すること
- ・卒業までに IT パスポート・基本情報処理技術者・ネットワーク接続エンジニア(DD3 種)・MOS (任意の種類) のいずれか1つ以上の資格を取得すること
※取得が無い場合はゼミ名簿に特記事項としてその旨記載される
- ・研究室におよびゼミ活動中は完全に禁煙であるので禁煙に耐えられること(喫煙者はほぼ不可)
- ・2017年1月28日(土)の卒論発表会に参加できること

ゼミでは毎週ボランティアで校内清掃を行う予定となっている。これに参加すること。また、本演習を履修する者は実習費・教材費(2016年度実績1学期1万円)を経理課窓口に収める必要がある。実習費やボランティア活動などについてはオリエンテーションおよび履修後に解説する。

【準備学習の内容】前提となる技術・学力などはない。意欲があることが最も大切。敬語を使えないものは当然ながら先輩から技術移転を受けられない。茶髪・ピアス不可。運動部との両立は極めて難しい。

【授業計画】講義要綱に概要が示されているが、詳細スケジュールは適宜 ML 等で随時示す。

【教科書】適宜指示される

【参考文献】所属が決まった時点で示す

【評価方法】学習状況、課題遂行状況、発表等による総合評価

【履修の条件】この履修要綱に記載されていることが条件

【聴講生・科目等履修生受入】原則否(過去に聴講を認めた例があるが本人の負担は大きい)

【他学科生・他専攻生受入】可

【他学部生受入】原則的には否

【開設予定曜日】火曜日4時限目 5時限目にゼミナールⅢ/Ⅳが開講されるので両方出席のこと

【使用言語】日本語

【担当者からの一言】IT 関連企業への就職や資格試験の取得を目指すものは、当ゼミに所属して卒論にチャレンジしてみるとよい。きっと充実した大学生活を送ることができるはずである。

【身に付くように意識している汎用的能力】

知的な好奇心	◎	自ら行動する力	◎
本質を理解する力	◎	自己反省する力	◎
論理的に考える力	◎	自信を生み出す力	◎
チームワークよく成し遂げる力	◎		